

授業科目名	教育制度論演習
科目番号	CB24012
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	春AB 月2
担当教員	藤井 穂高
授業概要	教育政策において、「資質・能力」(コンピテンシー)がどのように論じられているのか、国内外の施策を取り上げ、その内容を検討する。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力
授業の到達目標(学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育制度論的な分析の視点から教育改革を検討することができる。</li> <li>・ 今日の教育政策における資質・能力論の特徴を整理し、批判的に検討することができる。</li> </ul>
授業計画	<p>近年、わが国では大学入試改革が政策課題となっている。いくつかの改革を経てきているはずなのに、教育制度上の課題であり続けているのはなぜか。その改革の論理を諸外国とわが国の先行研究を踏まえて検討する。</p> <p>第1回 オリエンテーション、今日の教育政策における資質・能力論の概説  第2回 松下論文の検討  第3回 松尾論文の検討  第4回 平塚論文の検討  第5回 水原論文の検討  第6回 鳶島論文の検討  第7回 今西論文の検討  第8回 福田論文の検討  第9回 石井論文の検討  第10回 資質・能力論の今後の展開の可能性  第11回 試験</p>
履修条件	
成績評価方法	担当論文に関する報告(30%)、議論への参加(20%)、試験(50%)を総合して評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回の検討論文について事前に読み、論点を検討しておくこと。
教材・参考文献・配付資料等	<p>資料は毎回の授業で配布する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松下佳代(2010),「序章 &lt;新しい能力&gt;概念と教育」同編『&lt;新しい能力&gt;は教育を変えるか』ミネルヴァ書房</li> <li>2. 松尾知明(2016),「知識社会とコンピテンシー概念を考える OECD国際教育指標(INES)事業における理論的展開を中心に」、『教育学研究』83-2.</li> <li>3. 石井英真(2016),「資質・能力ベースのカリキュラムの危険性と可能性」、『カリキュラム研究』25.</li> <li>4. 平塚真真樹(2006),「移行システム分解過程における能力観の転換と社会関係資本」、『教育学研究』74-4</li> <li>5. 福田誠治(2008),「グローバリズムと学力の国際戦略」、『教育学研究』75-2</li> <li>6. 鳶島修治(2010),「『生きる力』の再定義をめぐるポリティックス」、『年報社会学論集』23</li> </ol>

教材・参考文献・配付資料等	7. 今西幸蔵(2008),「OECDとキー・コンピテンシー」『学校教育研究』23 8. 水原克敏(2017),「教育課程政策の原理的課題」、『教育学研究』84-4
オフィスアワー等(連絡先含む)	月曜、木曜、金曜の4限
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	参加型の授業形態をとるため、そうした形態に意欲をもって臨めることが望ましい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	教育制度, 資質・能力, 教育改革